

F-REDD Newsletter

Sustainable Forest Management and REDD+ Support Project
Nov 2015 - Oct 2020

持続可能な森林管理及びREDD+支援プロジェクト (F-REDD)

本プロジェクトの目的はREDD+に係る戦略策定、実施体制構築、実施のコーディネーションの支援と森林資源情報の整備などに係る能力の強化をはかり、それによってラオスの持続的な森林管理の促進に寄与することです。農林省森林局(M AF-DOF)を実施機関として協力しています。

衛星データを活用した森林モニタリング 手法の普及を進めています！ —ウドムサイ森林減少モニタリング研修—

ラオス北部では、森林から農地への転換が森林減少・劣化の大きな要因となっており、REDD+実施のためには、保全すべき森林のモニタリング技術と体制を整備、普及することが急務となっています。

F-REDDでは、2018年から衛星画像を活用したモニタリング手法の開発に取り組んできました。森林官はGoogle Earth Engineで、衛星画像を解析して森林減少地を特定します。次に、その情報を元に関係機関とともに現地を踏査し、タブレットアプリを用いて森林減少地の情報を入力します。併せて違反者への行政指導や、必要に応じて法執行機関への通知を行います。こうした森林モニタリング手法を、F-REDDの対象県であるルアンプラバン県とウドムサイ県に導入を図りつつあります。

2019年12月に、ルアンプラバン県とウドムサイ県の森林官を対象とした合同モニタリング研修を開催しました。昨年2019年乾期にも、ルアンプラバン県の森林官を対象に研修を行い、同県の6村で森林モニタリングを試行しました。今年は、対象村落を拡大して、2県で計21村を対象に2020年の乾期（1月から4月）に森林モニタリングを実施する予定です。

研修期間中は、ルアンプラバン県の森林官からウドムサイ県の森林官に対し、前乾期のモニタリングの経験についてフィードバックや、パソコンやタブレットの操作方法のアドバイスがあり、先行県の知見の共有や両県の交流も活発に行われました。

今後は、両県のフォローアップをしつつ、研修に参加した2県を軸として、ラオス北部の県において森林減少を抑制するための森林モニタリングのツールとして展開されることが期待されます。



森林モニタリング室内研修（上、中）
およびフィールド研修（下）

REDD+セーフガードのコンサルテーションが実施されました

REDD+セーフガードは、REDD+活動が社会や環境に与える影響を回避、低減するための予防措置です*1。REDD+の成果支払いを得る国は、事前にセーフガードの実施状況を報告する必要があり、F-REDDはラオスのセーフガード報告書作成を支援しています。

その一環として全5回（国レベル2回、地方レベル3回）のコンサルテーションが実施されました。REDD+セーフガードのうち、効果的かつ透明性のある森林ガバナンスと、地域住民の知識・権利の尊重ならびに効果的な参加をテーマに設定し、主要プレーヤーである行政、地域住民、民間セクター、市民団体、開発パートナーの5グループが対象です。中でも特に地域住民については社会的慣習、言語、ジェンダーなどに十分に配慮した上で、自由かつ公平な議論を促す工夫が必要です。そのためRECOFTC*2との連携により、コンサルテーションの中立性、透明性を高めることにしました。

これらの結果は今年中旬にラオスのREDD+セーフガード報告書として気候変動枠組み条約（UNFCCC）事務局へと提出される予定です。こうしてラオスのREDD+は一步一步、取組みを進めています。

*1 <https://redd.unfccc.int/fact-sheets/safeguards.html>

*2 コミュニティ・フォレストリーを専門とする国際非営利団体。



北部地域におけるコンサルテーション



グループワークによる議論の様子

成果毎の主な活動

成果1：中央政府の森林セクター支援

◆森林戦略2020の評価および森林戦略2030の方向性検討

成果2：REDD+実施による

排出削減・吸収増加量の測定支援

◆2019年版森林区分図修正作業

◆2019年版森林区分図修正作業に資する追加現地調査

成果3：国レベルのREDD+支援

◆世界銀行・森林炭素パートナーシップ（FCPF）炭素基金との結果に基づく支払い契約（ERPA）交渉への助言

◆セーフガード報告書の作成に向けたコンサルテーション

◆緑の気候基金(GCF) REDD+案件におけるドイツ国際協力公社(GIZ)とJICAとの連携調整支

成果4：ルアンプラバン県およびウドムサイ県のREDD+準備支援

◆PAREDDアプローチ普及活動に伴う生計向上活動

◆保護林管理計画におけるセクター別管理方針取りまとめ

◆ウドムサイ県並びにルアンプラバン県職員向け森林減少モニタリングシステム研修

コンタクト

プロジェクトオフィス

Kouvieng Street, Sisaket Village,
Chanthabouli District,
Vientiane Capital, Laos
Tel & Fax: 021(22)2536

プロジェクトHP

<http://www.jica.go.jp/project/laos/O18/index.html>

次期四半期のイベント

Feb.

PPT-PPTA保護林管理計画最終ワークショップ

JICA本部ミッション来訪

REL/MRV技術作業部会合



農林省
Ministry of
Agriculture and
Forestry (MAF)



独立行政法人
国際協力機構